

山岳ガイド受験のための 講習会(積雪期ガイドング)参加募集要項

主催： 社団法人日本山岳ガイド協会
運営： 社団法人日本山岳ガイド協会
試験委員会、事業委員会

- 開催にあたって：
社団法人日本山岳ガイド協会の定める「ガイド資格認定制度規則」に準じ、山岳ガイド資格取得希望者を対象とした講習会を開催します。
- 受講対象と募集定員：
 - ①本会のガイド資格分野の山岳ガイド分野の受験希望者。
 - ②本会のガイド資格認定試験を受験しようとする者。
 - ③本会のガイド資格認定試験の一部にすでに合格した者。
 - ④本会のガイド資格認定試験に合格し認定を受けた者で別の職能の受験を希望する者。

募集定員：15名
- 講習会開催期日：平成23年 1月11日（月）～ 1月14日（木）3泊4日間
- 開催地：八ヶ岳阿弥陀岳、赤岳、横岳、及びその周辺
宿泊所： 赤岳山荘、赤岳鉱泉（予定）
- 講習会受講料：受講料 70,000円
受講料には、講師料、保険料が含まれます。（別途：宿泊・朝夕食費で約10,000円、昼食・行動食、の交通費は各自負担となります。）
- 受講申込み：
 - ① 受講希望者は申込用紙(別紙1)と登山経歴書(別紙2)を記入の上、締切日必着にて送付してください。（ファックス可）
また、同時に現金書留または銀行振込にて、受講料をお支払いください。申込用紙と「銀行振込明細書」（コピーでも可）を添えて送付し、受講料の確認をもって正式な受付と致します。

郵送先： 社団法人日本山岳ガイド協会 山岳ガイド講習会係
〒160-0008 東京都新宿区三栄町25番地 堀木ビル501号
電話：03-3358-9806 ファックス：03-3358-9780
e-mail office@jfmga.com
振込先： 三菱東京UFJ銀行 四谷(よつや)支店 普通預金口座 1119029

名 義： 社団法人日本山岳ガイド協会
 - ② 申込締切日 平成22年12月24日（金）まで（同日消印有効）
募集は、先着順に受け付けます。
募集定員15名になり次第、締切日前であっても募集を締め切ります。
ご注意ください。
 - ③ 申し込み後、やむを得ない事情で参加できなくなった場合は、以下の取消料を徴収します。
・実施日の当日の取り消し・・・受講料の100%

- ・実施日の8日前から前日までの取り消し・・・受講料の50%
- ・実施日の15日～9日前までの取り消し・・・受講料の20%
- ・上記以前・・・1,000円

取り消し発生日が休日にあたるなどの理由で直接事務局と連絡が取れない場合は、ファックス送信または留守番電話への録音で対応すること。その場合、送信日、録音日を取り消し日とする。

7、集合案内について

申込受領案内をもって集合案内とします。開催日の5日前まで郵送いたします。内容は、「集合案内、現地連絡先、携行品確認リスト、担当者氏名、講習日程詳細」等々となります。

8、講習科目

●講習会講義および実技予定

		時 間	講 義 / 実 技	会場及び宿泊地
1	1/11 (月)	12:00 13:10～16:00 16:00～18:00 18:00～19:30 19:30～21:00 21:30	集合：オリエンテーション 実技講習 室内講習 夕食、休憩 講義 就寝	赤岳山荘 赤岳山荘
2	1/12 (火)	07:00～16:00 16:00～18:00 18:00～19:30 19:30～21:00 21:30	実技講習 室内講習 夕食、休憩 講義 就寝	 赤岳鉱泉
3	1/13 (火)	07:00～16:00 16:00～18:00 18:00～19:30 19:30～21:00 21:30	実技講習 室内講習 夕食、休憩 講義 就寝	赤岳鉱泉 赤岳鉱泉
4	1/14 (火)	07:00～13:00 13:00	実技講習 解散	 赤岳鉱泉

●講習会のプログラムは、変更される場合があります。

※以下は実際の「積雪期ルートガイディング、氷雪技術、雪稜」科目検定試験のチェック項目です。講習はこの内容に重点をおいて進行します。

1. ガイドの装備について (必需品、適切なものを必要数持っているか。)
1 クライミングロープを持っているか
2 クライミング用具を持っているか
3 レスキュー用ギアを持っているか
4 医療用応急処置の用具を持っているか
5 危急時用具を持っているか (ツェルト、コンロ等)
6 雪崩対策用具を持っているか (ビーコン、シャベル、プローブ)
7 一般登山用具、服装、その他
2. ガイド自身の出発準備について
1 ガイド自身の装備、服装等の点検が終わっていたか
2 天候、積雪状況、雪崩の危険 (気温、雪温、状態のチェック)、ルート状況等を把握しているか
3 天候急変に備えたシミュレーションは出来ているか (エスケープルートの設定など)
3. 顧客のケアおよびガイディング技術
1 出発前または前夜に、顧客に行動を説明したか (悪天候時の対策等)
2 出発前または前夜に、顧客の装備と服装の説明および点検をしたか (防寒、防風対策。ビーコンのバッテリー残量チェックも行う)
3 出発前に顧客の健康、体調を確認したか
4 ビーコンチェックを行う (受信→送信の順でチェック)
5 出発時に一日の行動予定 (ルートと天候) をもう一度解説したか

6 出発時に顧客の装備の忘れ物等再点検したか
7 歩行速度は顧客に配慮しているか
8 顧客に安全な場所で装備（アイゼン、ハーネス、ロープ等）を着けさせたか
9 顧客のハーネスを正しく装着してあげられたか
10 顧客のハーネスに正しくロープを結べたか
11 顧客の自己確保をしてあげたか
12 顧客との安全確認等の合図について再確認したか
13 行動のペース配分は適切か
14 行動中の休憩（食事と水分補給）のとらせ方、安全確保は適切か
15 行動中に顧客に対して落石等の危険に対する注意喚起
16 顧客に登り方などの指示が出来たか
17 行動の中止または変更（その際の顧客への説明）および継続の判断は適切だったか
18 顧客の疲労、悪天候時の励まし方は適切か
19 下山または安全地帯到着まで安全確保は継続したか
20 不平、不満のある顧客に的確に対応できたか
21 顧客の各種意向に対応努力し、楽しませたか
22 顧客に対する責任感と優しさがあったか
4. ガイド自身の技術能力について（氷雪、雪稜、岩稜等の混合）
1 クラシックルートを安全、確実に登る技術
2 中間支点の設置技術は的確か
3 支点設置技術（既存の支点、岩角、灌木等）は的確か
4 確保技術（器具またはムンターヒッチ）は的確か
5 隔時登攀のロープ操作に習熟しているか
6 懸垂下降技術に習熟しているか
7 ガイドルートにおけるナビゲーションは的確か
8 常に時間を考慮した行動がとれているか
9 ルートの知識はあるか
5. ショートローピングでのガイドング
1 ショートローピングのシステムは正しいか
2 顧客にショートロープの動き方を説明できたか
3 ロープ操作を確実に出来るか
4 ルート取りは的確か
5 ジグザグに登る際の顧客のこなし方
6 トラバースでの顧客のこなし方
7 隔時登攀と同時登攀の切り替えの判断は適切か
8 アンカー埋設、灌木、岩角を使って適切な確保が出来るか
9 下降時での顧客のこなし方（ロープの出し方）
6. 雪上、氷上での歩行技術等の初心者への指導能力
1 ピッケルの持ち方、使い方等の説明
2 キックステップの指導
3 クランボン使用しての歩行指導（フラットフットイング、フロントポインティング）
7. 氷雪技術と初心者への指導能力
1 斜度40~50度・高低差10m程度の氷雪を、安全確実にリードする技術
2 アイススクリュウでの中間支点の設置技術
3 アイススクリュウでの確保支点の設置および確保技術
4 トップロープのセットと確保技術（トップロープ）
5 斜度40~50度・高低差3~5m程度の氷雪面を、ステップカッティングで安全確実に登る技術
6 アイスクライミングにおける諸注意の説明（氷の粉碎、落氷等による危険）
7 アイスクライミングギアの使用法等の説明
8 シングル、ダブルアックス、アイゼン技術の説明
9 トップロープによるアイスクライミング、ローダウンのしかたおよび確保技術の指導
10 アイススクリュウのセットと回収法の指導
8. 怪我人のシート梱包と搬送技術（チームレスキュー/適切な作業とシステムの理解度）
1 ツェルト等によるシート梱包（1人で30分）。雪崩遭難の場合に低体温症、骨折、その他のケース

別に適切な梱包ができたか
2 シート搬送（起伏のある登山道を100mほど搬送する）
9. 安全管理能力
1 危険箇所についての注意配慮は十分か
2 天候、積雪（降雪量）、雪質の観察と判断、地形判断をふまえて、適切な行動判断ができたか。
3 体力消耗、疲労に対する注意配慮は十分か
4 注意事項等安全配慮に関する説明能力は十分か
5 緊急時、顧客に対する対応は適切か
6 当該地域の気象、気候、地形についての情報把握
10. ガイドとしての資質（全体的な行動からしての適正、感性、人望、将来性等）
1 危険に対する事前の認識と判断力
2 危険に対する予知予見と事前回避能力
3 困難（危険）な状況下における的確な判断と行動
4 指導力、統率力、責任感、義務感、信頼性
5 受験態度、言動、マナー、意欲、向上心
6 この分野での相応しい技術、知識
7 心構え（常に顧客の安全を考えて行動したか）
8 資質（サービス精神、説明責任、接客態度）
9 ガイドとしての基本的な体力

9、講習会に所持する標準装備（予定） 確定版は集合案内を必ずご覧ください。

■ 共通装備（ガイディングにて必要な一般装備なので各自必要な物は追加）

品 名	備 考	品 名	備 考
リュックサック	1	行動用食糧	日数分
スタッフバッグ	適当数	非常用軽量コップ	1
ヘッドランプ	1(予備電池も)	非常用軽量ストーブ	1(燃料を含む)
ツェルト	1	ライター	1
ナイフ	1	ペーパー	1
周辺の地図、ルート図	1 (1/25000)	筆記用具	1
コンパス	1	健康保険証	1
高度計	1	地域のガイド、資料等	1
サングラス・ゴーグル	適当数	登山靴	1
時計	1	ホイッスル	1
ファーストエイドキット	1 応急処置可能なもの	オーバージャケット、オーバーパンツ、中間着、下着、スパッツ、手袋、帽子、目出帽	1
テーピングテープ	38mm幅程度	など雪山用防寒、防風着一式	
テルモス	1		
ヘルメット	1	スリング(120cm)	2
クランポン	1	スリング(60cm)	4
アイスアックス(岩雪稜用)	1	確保器&下降器(ルベルソ等)	1
クライミングロープ	1(シングル仕様50m以上)	アイスアックス(アイスクライミング用)	2
補助ロープ	1(7mm×7m以上)	クランポン(アイスクライミング用)	1(岩雪稜用と兼用でも可)
フリクションヒッチ用コード	2 (7mm径140cmをループにしたもの)	アイススクリュー	3
	1(ビレーループ付き)	スレッド用フック	1
ハーネス	2	アバランチビーコン	1
ロックンガカラビナ	2	ショベル	1
ロックンガカラビナ(HMS)	5	プローブ	1
カラビナ	3	わかん	1
クイックドロウ			

平成22年度 社団法人日本山岳ガイド協会
山岳ガイド受験希望者向け積雪期ガイドング講習会 受講申込書

フリガナ 氏名		生年月日	(西暦) 年 月 日生
		血液型	型
		目的職能	資格
住所等	〒 ー		
	TEL	FAX	
	携帯電話	E-MAIL	
緊急連絡先	氏名: (本人との続柄):		
	TEL:	FAX:	
所属団体 (※当会会員の場合のみ記入してください)			
◎この講習会に期待することなどございましたら記入してください。			
法人記入欄:			
申込受付日: 月 日 入金確認日: 月 日 資料発送日: 月 日			

